

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ワークくわの木かなぎライディングパーク	事業所番号	3210700385
住 所	浜田市金城町久佐イ1390-8	管理者名	渡辺浩之
電話番号	0855-42-2222	対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 島根あさひ社会復帰促進センターでのホースプログラム活動への協力。 利用者が飼育管理を行っている乗用馬の提供。 4月～12月 年28回実施。	<活動の様子> 【活動の様子】 ・基本年間3クール（令和3年度から2クール）実施している。 ・プログラムの枠組は下記の通り ・1クール・全12回 ・馬場7回【120分】、教室5回【90分】 ・水曜グループ【6名】・木曜グループ【6名】 ・海外のホースセラピー団体、Equine Assisted Growth and Learning Association（通称：イアガラ）の手法をモデルとしている。 ・教室授業のみ実施する他の教育プログラムとは異なり、ホースプログラムでは、個性を持つ馬と接する姿と彼らが語る場面を観察することが可能ため、言動の不一致が顕著に出る。この様子を訓練生にフィードバックすることにより、訓練生自身に気付きを与える機会が増えた。 【目的】 ・島根あさひのホースプログラムでは、「自分を知る」ことを目的としている。この目的を設定した背景として、これまでの入所時調査や他の教育プログラムで受刑者と関わる中で、彼ら自身、なぜ犯罪をしたのか、その原因を理解できていない者が多数いることに着目（例えば、やめたいけどなぜかやめられないといった薬物・酒・ギャンブル等の依存の問題を抱えている者又は、口より先に手が出てしまうといった感情コントロールに課題を抱える者など）。したがって、イアガラの手法を取り入れることにより、自分自身を多角的に知ることが可能になり、再犯防止に役立つであろうという仮説を立てた。 【成果】 ・ホースプログラム処遇効果評価の統計的な処理は、現在、整理中である。 ・ホースプログラム終了後、より良いプログラムを創っていくという目的で、体験を共有し合う座談会を実施している。その中で、参加者から聴かれた声をいくつか下記に示す。 ・人間関係については深い部分まで考えられた。 ・大きいから怖い、いろいろな性格が分かってくるので、人間にも置き換えられる。一目見て狂暴そうだったら付き合いをしなかった。そう判断していたのはもったいなかった。 ・馬は純粋で感情を出す。人間はにごっている。プライドとかいじめがあって。
<目的> ・社会復帰への支援に参加させて頂くことで地域で必要とされる施設を目指す。 ・飼育管理する乗用馬が地域で活用されることで、利用者の意欲向上や社会参加をはたす。	
<成果> ・セラピーとしての利用効果を知ってもらうことで、観光乗馬だけでなく、不登校児童や支援学級児童の乗馬体験受入れなどを実施している。 ・子供たちの体験や見学が増えることで、利用者の作業意欲も向上している。	

連携先の企業等の意見または評価

・金城職員の協力のもと、テーマごとに馬の個性を活かしたセッションを実施することが可能になり、受刑者が抱える課題をより現実的に扱えるようになった。また、3頭という馬の頭数を利用させて頂くことにより、家族、兄弟、友人関係について考える機会を提供しやすくなった。 ・希望制を導入して以来、訓練生自身がモチベーションを持って参加しているため、課題のテーマについて考えようとする姿勢が顕著に見られるようになった。 ・良く調教されている馬を提供いただき、安全にプログラムを実施することが出来ている。また数多い馬の中から課題に合った馬を選びレンタルさせて頂けることによって、幅広いプログラムを行うことが出来るようになった。			
連携先企業名	島根あさひ社会復帰促進センター SSJ株式会社	担当者名	吉田

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ワークくわの木かなぎライディングパーク	事業所番号	3210700385
住 所	浜田市金城町久佐イ1390-8	管理者名	渡辺浩之
電話番号	0855-42-2222	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 「障がいのある方を対象とした就職面談会」 ・ 令和5年10月19日（木）13：30～16：00 ・ 浜田市総合福祉センター ・ 利用者2名参加	<活動の様子> ・ 参加企業：12社 ・ 全体参加求職者：約63名 ・ 当日のスケジュール 13：30～13：45 事前説明 13：45～14：05 企業担当者挨拶 14：10～各企業のブースにて面談会。（1回20分×4回）
<目的> ・ 興味のある仕事や自分に向いている仕事をみつける。 ・ 職場環境や仕事内容を知り、企業ごと、職種ごとの違いを理解する。 ・ 企業ごとの労働条件の違いについて理解する。	
<成果> ・ 仕事に必要な資格や技術が理解でき、今後の課題として目標設定することができた。 ・ 直接企業の方と話をすることで、仕事に対する責任感を感じ、日々の業務でも意欲が高まった。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

昨年は会場の雰囲気には驚き落ち着かず会場内をウロウロする様子があった方が、今年は2回目の参加から大まかな流れも分かり落ち着いて参加をされていた。毎年の定期的な参加がご本人の成長につながっていると感じる。直接企業の方から話を聞き、参加者が企業から求められる力を知り今後の自分を考える良い機会となっている。 個別面談の企業は事前に申し込んでいる為、求人票の確認や企業情報を調べてみるなど事前準備を行い参加をすることも今後の就職活動を行う中で必要な力となると感じている。	
連携先企業（担当者）	浜田就業・生活支援センターレント 武田春奈

利用者からの意見・評価

就職面談会では、社会福祉法人旭福祉会、社会福祉法人愛心会、有限会社ホットケアセンターから話を聞いた。これまでは今の仕事と同様な接客業をしたいと考えていたが、介護の仕事も人と関わる仕事であり、自分に向いているかもしれないと感じ興味を持てた。今後の就労の選択肢として考えていきたい。
--